



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151 (代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

苦手を超えて笑顔へ

歯科麻酔科 診療科長・教授 増田 陸雄

2023年4月1日付で歯科麻酔科の診療科長を拝命しました増田陸雄と申します。患者さんならびに歯科医師会の先生方、これからどうぞよろしくお願いいたします。

突然ですが、皆さんは歯科治療に対してどんな印象があるでしょうか。ちなみに、私は苦手です……。注射や歯を削っているときの痛み、キーンやカチャカチャという音、薬剤の臭いや味など、苦手な理由はいっぱいあります。ただ苦手とはいっても、多少我慢して治療は受けられます。

しかし、一方では歯科治療が本当に苦手で、治療中に気分が悪くなる方もいらっしゃると思います。歯医者さんでの嫌な思い出によって、歯科医院に行くことすらできなくなってしまう場合もあります。歯科麻酔科は、このような方々に対して全身麻酔や静脈内鎮静法を行い、快適に歯科治療を受けていただけるようサポートをしています。

また、何らかの全身疾患によって、町の歯科医院では治療を受けることができずにお困りの方もいらっしゃるかもしれませ

ん。そういった方々の歯科治療中の血圧や脈拍数、酸素飽和度などのモニタリングも歯科麻酔科が担当しています。

当院は歯科専門の病院ですが、昭和大学の各附属病院には多くの専門診療科があり、各診療科と情報を共有しながら診療を行うことが可能ですので、全身疾患のある患者さんでも安心して治療を受けていただけます。

私たちの持つ麻酔の知識や技術を用いて歯科治療でお困りの方々を救済する、これが歯科麻酔科の務めの一つと考えております。今まで治療を受けることができなかった患者さんが、治療を終えて笑顔で帰られることは私たち歯科麻酔科医の喜びになっています。

歯科治療が苦手な方あるいは全身疾患をお持ちでお困りの方、お気軽にご相談ください。お待ちしております。



- P1 巻頭言 苦手を超えて笑顔へ
- P2 診療科紹介 歯科麻酔科
- P3 診療科紹介 顎変形症専門外来
- P4 患者さんのご意見・ご要望、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

診療科紹介：歯科麻酔科

歯科麻酔科 講師（診療科長補佐） 西村 晶子

～全身麻酔での歯科治療について～

全身麻酔は大がかりで怖いものというイメージはありませんか？ 歯の治療に全身麻酔なんて大げさだと思いませんか？ しかし全身麻酔下で行えば、どのような治療も眠っている間に終わってしまいます。長時間にわたって口を開け続ける努力も、痛みに耐える必要もありません。

現在の全身麻酔は安全であるだけでなく、より快適なものになりました。点滴からお薬が入ると数秒で眠り、手術が終われば10分ほどで目が覚めます。その後は1～2時間程度ゆっくりベッドで休めば、後は自由に過ごすことができます。歯科治療で全身麻酔とは皆さん意外に思われるかもしれませんが、年々その認知度は増し、需要も高まっています。昭和大学歯科病院では毎年1,000件を超える全身麻酔が行われていて、過去10年間で約2倍に増加しました。歯科麻酔科は当院だけではなく昭和大学の各附属病院にも活躍の場を増やしており、日本歯科麻酔学会の専門医10名、認定医7名を含む33名が勤務し、歯科治

療や手術の麻酔を担当しています。

当院での全身麻酔の手術には腫瘍や顎変形症などの大がかりなものもありますが、多くは親知らずや過剰歯の抜歯、嚢胞（のうほう）摘出術などで、むし歯の治療も必要に応じて全身麻酔下で行なっています。歯科麻酔科医は事前に患者さんの全身状態や検査データをすべてチェックし、一人ひとりに合わせた麻酔計画を立て、麻酔を安全に実施できるように努めています。また、麻酔方法について丁寧に説明させていただき、患者さんやご家族に不安なく麻酔に臨んでもらえるよう心がけています。

私たち昭和大学歯科病院歯科麻酔科は麻酔管理・全身管理を専門にしながら、一人でも多くの患者さんが安心して歯科治療を受けられるようにお手伝いさせていただきます。全身麻酔での歯科治療を希望される方をはじめ、歯科治療に不安を抱えている方、全身的な疾患を理由に地域での歯科診療が困難な方は診療担当医を通して歯科麻酔科までご連絡ください。

昭和大学歯科病院 歯科麻酔科 全身麻酔症例数



図1 歯科麻酔科管理症例数の推移



図2 手術室の麻酔維持中の写真

診療科紹介：顎変形症専門外来

顎変形症専門外来 診療科長・教授 代田 達夫

顎変形症は、顎顔面頭蓋の成長発育異常による上下の骨格の不調和に、歯の位置の異常が加わることにより、重度の咬み合わせの異常と顔面の変形を呈す疾患です。顎変形症の種類には、上顎前突症、下顎前突症、上下顎前突症、上顎後退症、下顎後退症、開咬症、顔面非対称などがあり、治療にあたっては歯科矯正治療（術前矯正）とともに上顎、下顎または上下顎の骨を同時に骨切りする手術（顎矯正手術）が必要となります。

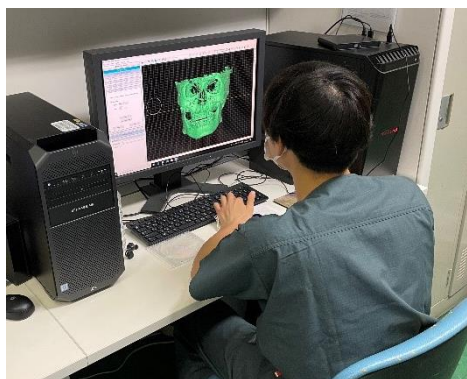
当院の顎変形症専門外来では、術前に撮影したCTのデータを用いてコンピューター上で3D顎骨モデルを作成し、手術のシミュレーションを口腔外科医と矯正歯科医が協力して行うことで、歯並びだけでなく顔貌全体の調和を意識した手術計画を立てることができます。また、ナビゲーションシステムという特殊な方法を用いて、術前に行ったシミュ

レーション通りに手術を行えているか、リアルタイムで確認しながら手術を行うことで、高精度かつ安全な手術を行うことが可能になっています。

手術は全身麻酔下で行いますので手術中の痛みはありません。入院期間は2週間程度になります。退院直後は顔の腫れが残りますが、顎に大きな力が加わらないようなお仕事であれば退院後すぐに復帰することも可能です。

初診患者さんで、かかりつけの歯科医院から紹介状をお持ちの方は、お電話でご都合の良い日時をご予約されてから来院してください。なお、診察受付時間は、毎週木曜日の午前（9:00～12:00）となっています。

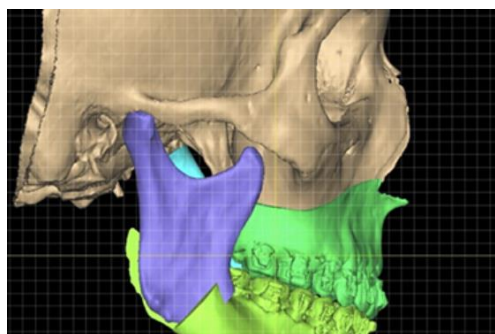
当院2階の顎顔面口腔外科外来にて診察や手術・入院概要の説明を行った後、当院5階の矯正歯科に紹介を行います。



手術シミュレーションの設計風景



手術風景



手術のシミュレーション画像

昭和大学歯科病院 地域歯科医療連携室

電話番号：03-5498-1954

予約受付時間：月曜日～土曜日 8:30～17:00

休診日：日曜、祝日、創立記念日（11月15日）

年末年始

患者さんからのご意見・ご要望

患者サービス向上委員会

ご意見・ご要望	回答・改善等
サラダはスムージーにすると、かまずに飲めるので患部に刺激が少ないと思います。すこし甘めにするとデザート風にもなるので飲みやすいので、ご検討ください。	手術の後に提供されるお食事は、手術の内容により流動食、ソフト食、きざみ食など、さまざまな形態があり医師の指示のもと提供しています。 野菜をスムージーにして摂取する方法は、効率的に野菜や果物を摂取できる良い手法の一つであると思います。給食でのスムージー提供については十分な検討が必要であるため、今後の術後食の検討の際に、当事者である患者さんからの意見として参考にさせていただきたいと思います。 この度は貴重なご意見をありがとうございました。 (栄養科)
医師、看護師さん共に優しく丁寧に接していただき、安心できました。ありがとうございました。	この度は、温かいお言葉、大変うれしく思います。こちらこそ、コロナ禍により入院生活の制限がある中、ご不自由もあったかと思いますが、このようなお言葉を頂戴し何よりの励みになります。 これからも、患者さんにご満足いただけるよう、努力してまいります。ありがとうございました。 (病棟看護師)

患者さん対象 インプラント治療に関する説明会 開催のお知らせ

インプラント治療に関する説明会を8月より再開することになりました。

8月30日(水) 13:30~14:30

詳細に関しては、当院ホームページ・院内掲示などでご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症予防のため、入室前に体温チェックを行い、37.5℃以上体温がある場合や体調不良の方は当日の参加をご遠慮いただきます。皆様の安全確保のため、ご協力をお願いいたします。

事務課管理係

編集後記

新型コロナの影響で、飲食店のテイクアウトやデリバリーが増加しました。雨で外出しにくいこの時期、お家でおいしい料理をいただけるのはありがたいですね。ですがテイクアウトやデリバリーは調理してから食べるまでの時間が長く、湿気の多いこの時期は食中毒の危険が高まります。長時間の持ち歩きは避ける、室温に放置しない、十分加熱したメニューを選んで食中毒を予防し、健康な歯でおいしくいただきましょう。(R.N)

